

令和2年度指導計画 (技術)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	技術	総時数	17.5時間	学年(コース)	3学年
使用教科書	東京書籍『新編 新しい 技術・家庭 技術分野』				
副教材等	明治図書『技術家庭総合ノート 技術分野』				

1 学習目標

生活を楽しく豊かにしていくために必要な基礎的な技術や知識を習得する。

2 指導の重点

情報の技術に関して基礎的な知識を身につけ、プログラミングの実技により、計測・制御システムの仕組みを理解させる。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5	10 11	コンピュ ータと情 報・通信ネ ットワー ク	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基礎的な知識を学ぶ ・情報通信ネットワークとセキュリティについて考える 	6	定期テスト
5 6 7	12 1 7	ディジタ ル作品の 設計、制 作、プロ グラムに よる計測、制 御	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル時計コロックルの制作とコンピュータプログラムの基礎的な知識を学ぶ ・コロックルのプログラミングと作動の確認 	6	作品
8 9	2 3	プロ グラ ムの評価	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作ったプログラムの改良、発展の方法を考える 	5.5	作品 テスト

計 17.5 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

・作品、テスト、ワーク

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)		(知識・理解)
生活で使うものや、製作への 関心意欲態度	製作の工夫・創造	情報を扱う技能	技術の知識、理解
<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で身の回りで使われている情報技術に対する興味・関心 ・自分の製作への意欲 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活に役立つ計測、制御システムを考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・順次処理、反復処理、分岐処理を組み合わせ、プログラミングすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークとセキュリティ、計測、制御システムの仕組み、知識が身についている。
以上の観点を踏まえ、 ・作品、テスト、ワークなどから、総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

デジタル時計コロックルのプログラムを作ります。計測、制御システムの基礎を理解して進めましょう。

(担当：金子)